

平和行動in長崎



▲開会挨拶 連合長崎 宮崎会長



▲主催者挨拶 連合本部 神津会長



▲佐世保地協・北松ブロック参加の皆さん(右側階段席)



▲【NPT】再検討会議シンポジウムで決意表明 連合本部 山本副事務局長

8月8日(木)15:30～「連合2019平和ナガサキ集会」が、長崎県立総合体育館・メインアリーナに於いて、3,370人の参加の下開催されました。連合長崎・宮崎辰弥会長は、開会の挨拶で、「核兵器廃絶のさまざまな動きが世界各地で起こっている。その原動力は被爆者の皆さんの必死の訴え、そして先人たちからの長く続いてきた核兵器廃絶、私たちの平和運動にある。核兵器は必ずなくすることができる。その思いをそれぞれの地域、職場、家庭に持ち帰っていただきたいと思う。本日、キックオフする核兵器廃絶1000万署名をはじめ私たちひとり一人ができること、少しの勇気をもって行動していこう」と挨拶を行いました。

連合本部神津会長は主催者挨拶で、「原爆の投下から74年が経過した。あつてはならない原爆の投下が8/6日広島に続いてここ長崎で8/9日に再び起きてしまった。あつてはならないことが、再び起こってしまった。再現性をもってしまった。これはきわめて重たい。

核兵器は持っている、再び使われてしまうことをさし示しているのではないと思う。人類は残念ながらそのようなおろかな存在、おろかな存在としての側面をもっているということの証明がいったんされているということではないか。ただし、一方で、そこで留意すべきことがある。8/6日の広島で起きたことを、その当時知っていた人は、世界中の中では、わずかな範囲の人々とどまっていた。人類の持つひとり一人の理性の部分が、その力が発揮される前に、8/9日の長崎が起きてしまった。だからこそ、私たちは、広く世界に核兵器の恐ろしさ、非人道性を訴えていかなければならない。そして、時代を超えていつまでも語り継ぎ、核兵器廃絶の輪をひろげていく。そのことこそが核兵器廃絶の唯一の道ではないかと思う」と挨拶されました。ナガサキ集会が終了し、その後、2020年核兵器不拡散条約(NPT)再検討会議に向けたシンポジウムが開催された。連合佐世保地協および北松ブロックからは、103人での参加となりました。晴天の天候に恵まれ、大きな混乱もなく無事終了することが出来ました。参加いただきました皆様、大変お疲れ様でした。

◎編集後記 H・K 今年、4月の統一地方選挙、7月の参議院議員選挙と大変お世話様になりました。また、平和行動の取り組みには、構成組織、組合員皆様のご協力に感謝申し上げます。過ごしやすい季節を迎えております。皆様におかれましては、大会の準備など多忙な季節となりますが健康に留意されご自愛ください。

 JTUC SASEBOCHIKYO	<h2>連合長崎</h2> <h1>させぼ</h1>	NO. 38 連合長崎 佐世保地域協議会 〒857-0851 佐世保市稲荷町2-28 TEL 0956-20-0565 Fax 0956-20-0567 Email:sasebo-rengo@hop.ocn.ne.jp 2019年10月1日 発行責任者：鴨川博明
---	-------------------------------	---

政策制度要求書を佐世保市へ提出



▲鴨川事務局長より、佐世保市田中副市長へ手交にて提出

8月30日(金)11:00～佐世保市役所副市長応接室に於いて、「2020年度政策・制度に関する要求書」を鴨川事務局長より、佐世保市代表の田中副市長へ手交にて提出を行いました。

連合地協の政策委員会は、4月に第1回の政策委員会を開催し、大田政策委員長をはじめ三役を選出、その後5回の委員会で取りまとめを行い、地協第9回幹事会に於いて確認。佐世保市に対し、提出する運びとなりました。

提出の当日は、鴨川事務局長、市議団からも国民民主党、社民党の議員団、長退連地協からも帯同をいただきました。また今年、インターンシップの大学生2人も特別に参加していただきました。要求の内容につきましては、11分野48項目となりました。参加いただきました皆様、大変お疲れ様でした。



▲長退連地協中村副会長より最後にお礼の挨拶



▲佐世保市側、田中副市長および関係部署の皆様

平和行動in広島



▲ ピースメッセージで挨拶連合長崎宮崎会長



▲ ピースフラッグを引き継ぐ連合長崎宮崎会長



▲原爆ドームの前で全員で



▲広島平和祈念公園にて参加者全員で



▲広島市立大学構内にて打鐘式終了後長崎からの参加者全員で



▲広島平和祈念公園資料館前にて参加者全員で

8月5日(月) 16:30～「連合2019 平和ヒロシマ集会」が上野学園ホールに於いて開催され、連合長崎より宮崎会長はじめ14名が参加しました。連合佐世保地協からは、土井晴樹氏(全労金)が参加。

8月5日(月) 連合長崎参加者は、集会に先駆けて、午前中は広島原爆資料館を見学、午後は、広島平和祈念公園内の慰霊碑巡り「ピースウォーク」等に参加。夕方16:30～上の学園ホールに於いて開催された「連合2019 平和ヒロシマ集会」に参加することができました。

8月6日(火) 8時15分の時間に合わせて、広島市立大学構内「長崎の鐘」打鐘式に参加し、終了後帰路につきました。

参加いただきました皆様、大変お疲れ様でした。

長崎県最低賃金周知街頭行動

交流バレーボール大会



▲最低賃金が28円上がり790円になりました。



▲「核兵器廃絶1000万署名」にご協力をお願いします！



▲街頭行動参加者全員で

9月21日(土) 12:00～四ヶ町アーケード(島瀬公園前)に於いて、10月3日～施工される長崎県最低賃金790円の周知のための街頭行動、併せて、「核兵器廃絶1000万署名」を地協役員7人の参加の下、行いました。

参加された皆様大変お疲れ様でした。



▲主催者挨拶：榎本副実行委員長



▲全駐労：豊村選手の力強い「選手宣誓」



▲試合前は、準備体操で体をならして

9月29日(日) 09:30～青少年の天地、多目的ホールにおいて、連合佐世保地協・佐世保地区労福協共催の第16回親善ソフトバレーボール大会が12チーム、応援者含めて190人の参加の下、開催されました。

当日は秋晴れの晴天の環境の中での開催でした。多くの皆様のご参加をいただき、和気あいあいの中交流が行われました。優勝されたのは、全駐労Aチーム、準優勝は、県職佐世保チーム、3位は、全水道佐世保チーム、4位は、佐重工労組チームでした。参加された皆様大変お疲れ様でした。